

あくね 市議会だより

第3回定例会

当市初の友好交流協定へ……………2
討論 条例・予算等めぐり……………4
各議員が市政を問う……………6



二次元コード

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

季節の花々に囲まれ
子どもたちでにぎわう

秋の番所丘公園

平成29年11月15日発行（No.195）



阿久根市議会

当市初の友好交流協定へ

第3回定例会

台湾 台南市善化区と ～ボンタン 縁に～

9月4日から22日まで
定例会を開催

当市にとって国内外初めての友好都市となる、台湾台南市善化区と友好交流協定を締結することを出席者（注 竹原信一議員欠席）の全員賛成で可決しました。

台湾台南市善化区と当市の両ロータリークラブは、互いの名産のボンタンを縁に20年以上の交流を育んできました。その実績を礎に、両自治体が今後、文化、教育、観光、産業など幅広い分野での交流を行い、相互の繁栄と友好親善に寄与するた



台南市善化区にある寺院

めに協定を締結します。今年度中に調印式が台南市善化区で行われる予定です。



市民交流センターの建設状況（9月）

補正予算 交流センター 5億2500万円など

補正予算では、債務負担行為（複数年にわたり支出を予定する事業）として昨年度可決された市民交流センター建設工事のうち5億2500万円を可決。加えて総合体育館空調設備修繕費用として2500万円等、計約5億9300万円を可決。今年度一般会計総額は118億5632万円となりました。

市情報公開・個人情報保護条例は、行政機関等が保有する個人情報等を適正かつ効果的に活用し、新たな産業を創出し、活力ある経済や豊かな生活を実現するため、国の法施行に伴う改正を可決しました。

森林環境税創設を国に求める意見書を可決しました。現在、鹿児島県は森林環境税を独自に県民に課していますが、全国民がひとしく森林を守るための税負担を求めるものです。

竹原信一議員への懲罰動議を提出 閉会中の審査へ

一般質問で竹原信一議員から不適切な発言があったとして、4議員が懲罰動議を提出、懲罰特別委員会では閉会中に審査します。

可決した人事

○教育委員会委員
古賀 正男氏（瀬之浦上）
○人権擁護委員
大石 啓元氏（波留）
高崎 良二氏（永田上）
河野 俊一氏（深田）



修繕が予定されている総合体育館の空調機器

予算委員会

一般会計補正予算（２号）の審査を行った結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。主な質疑、意見は以下のとおり。

台南市善化区との友好交流協定締結

調印式への派遣人数、その内訳についての質疑に、市長、副市長、教育長、議長ほか関係職員５名、合計９名を想定している、との答弁がありました。

委員から、市長が海外に行く場合、不測の事態や危機管理等の対応に当たるため、副市長は残るべきでは、との意見があり、検討ではなく訂正をすべき、との意見も出ました。

また、今回の交流協定により期待される効果は、との質疑に、青少年交流を初め、教育、スポーツ、文化面の交流、観光、

産業などへの効果も期待している、との答弁がありました。

阿久根駅前バス停移設

駅前通り会の方々が移設について承諾していない、という話がある。通り会に説明し、理解を求めているのか、との質疑に、これまで６回の協議



阿久根駅ロータリーに移設予定の駅前バス停

を行った。移設の予定で南国交通と鶴翔高校の送迎バスについても話をしている。市としては駅前ロータリーにバス停があるほうが利便性が高いという判断である。今の工事が終わるのに合わせバス停移設をしたい。今後理解を求めていく、との答弁がありました。

総務文教委員会

阿久根市情報公開条例・個人情報保護条例の一部改正について審査した結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

主な質疑として、①人種、信条、社会的身分、病歴とあるが、窓口で聞かれても答える必要はないということか②原案は国から来るわけだが、他の自治体との違いというのはあるのか③住民が不利益になる部分というの

は全く取り扱いに問題がないとの認識で良いか、などの質疑がありました。それぞれの質疑への答弁は、①基本的には本人に対する不当な差別や偏見などの不利益が生じないように、特に配慮を要する個人情報について規定をした②他の団体においても既に改正した団体は、同様な改正になっている。③これまで個人情報というくりの中からは個人識別符号に該当するものとそうでないものとを明確にし、個人情報の保護を図りつつ、該当しないものは幅広く活用していくという趣旨から法律改正がされた、との説明がありました。

個人識別符号とは

顔識別データ、指紋識別データ、基礎年金番号などのこと

産業厚生委員会

委員会の重点調査事項を決定

- ①地元企業の育成と商店街・道の駅等の活性化について
- ・特に大川の道の駅について、施設、出店品目等見直すべき時期など調査する。
- ②海を活用した観光行政と宿泊施設の整備
- ・特に宿泊施設の整備についてどのように推進すべきかなど調査する。
- ③集落営農等の農業振興について

・先進地を視察し、営農の振興策について調査を実施する。

「全国森林環境税」の創設に関する意見書を委員会から提出・可決される。

・森林整備等に必要なる財源を都市・地方を通じて国民にひとしく負担を求める「全国森林環境税」の早期導入を求める意見書

※鹿児島県は森林環境税を平成17年度から実施、個人は年、五百円、法人は均等割額の5%相当額が加算されている。



集落営農による稲刈り風景

討論

各議案に対する討論の
あつた主な内容

情報公開・個人情報保護 条例の改正

反対 竹原（信）議員

憲法21条で「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。」とある。しかし国は「盗聴法」を作った。通信の秘密を



個人情報の保護を

一般会計補正予算

反対 竹原（信）議員

・バス停移設
バス停の移設は通り会から反対されている。駅から港、交流センターへ

守ってはいない。検閲はやり放題。次は結社の自由を奪う「組織的犯罪処罰法」を準備している。

憲法違反だ。今回の議案は、官権力が情報集積をしている事を隠すことが出来るようにするもの。

国が戦争をしやすくなる。政治家は危険な国家を疑うのが仕事である。

とつながる観光地づくり「うみまちにぎわい計画」が理解されていないということだ。暮らしとのつながりのない「うみまちにぎわい計画」は失敗だ。見直しが必要。

・台湾旅費

東日本大震災では台湾から真つ先に200億円以上もの義援金が日本に届けられた。日本は台湾から尊敬されている。台湾統治時代のダム建設と台湾住民を大切にした慈愛の精神が尊敬された。

これは台湾の教科書に載っている。しかし、国のODA事業などは日本企業のため。阿久根市の事業にも精神性を感じられない。

・共進会補助金

鹿児島県でも全国でも出品すべてを「最優秀賞」にする。これは言葉の誤用であり品質の偽装だ。これでは「日本人の言葉には裏がある」と国際的信用を必ず失う。

森林環境税創設意見書

反対 竹原（信）議員

県は平成17年度から森林環境税を導入しており、毎年、県民と法人から徴収し、事業を行っている。今回の全国森林環境税創設促進議員連盟が求めている全国森林環境税との目的に違いはない。この意見書は環境改善と地方の財政難を直結しており、このような理論で税の創設を求めるべきではない。

反対 竹原（信）議員

マスコミなどが言う二酸化炭素増加や地球温暖化はほとんどが嘘。森林の問題は国土保全の観点から国家が全国的に取り組むべきことである。出来ていない国に要求すべきことであつて、増税は筋違いだ。

意見書

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

内容 平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となつて実施する森林整備等に必要なる財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民にひとしく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結



国民皆の資源、森林を守りましょう

論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求め、関係機関への意見書の提出を求める。

結果 産業厚生委員長からの提案説明があり、質疑、2件の反対討論の後に採決を行い、賛成多数で原案どおり可決しました。

本意見書は阿久根市議会から関係機関へ送付を行いました。

平成29年第3回定例会 議案及び審議結果

議案等番号	内 容	結 果
議 案 第 56 号	教育委員会の委員の任命について	同 意
議案第57～59号	人権擁護委員の候補者の推薦について（3件）	同 意
議 案 第 60 号	友好交流協定の締結について	可 決
議 案 第 61 号	阿久根市情報公開条例及び阿久根市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決（多数）
議 案 第 62 号	平成29年度阿久根市一般会計補正予算（第2号）	可決（多数）
議 案 第 63 号	平成29年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議 案 第 64 号	平成29年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議 案 第 65 号	平成29年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議 案 第 66 号	平成29年度阿久根市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
認定第1～7号	平成28年度阿久根市歳入歳出決算認定について（7件）	継 続 審 査
意見書第2号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	可決（多数）
懲 罰 動 議	竹原信一議員に対する懲罰の件	継 続 審 査

平成29年第3回定例会 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

議案等番号	議員名（議席番号順）															結果	討論数	
	白石 純一	渡辺 久治	濱田 洋一	西田 数市	竹原 信一	飯屋園 一徳	竹原 恵美	中面 幸人	大田 重男	濱崎 國治	牟田 学	岩崎 健二	濱之上 大成	山田 勝	野畑 直			木下 孝行
議案第61号	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対：1 賛成：－
議案第62号	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	－	可決	反対：1 賛成：1
意見書第2号	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	－	可決	反対：2 賛成：－

○木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。



8月23日鹿児島市において議会広報研修会が開催され、4名の委員が参加しました。

研修会では、全国の議会広報の編集制作のアドバイザーを行っている講師から「住民に読まれ議会活動が伝わる議会広報の基本と編集」と題しての講演がありました。

講演では、全国的に評価されている「議会だより」の紹介があり、住民目線で「わかりやすく」「読みやすく」を基本に

した「読みたくなる紙面づくり」の編集方法のアドバイスがありました。

また、議会広報は、住民への説明責任を果たし信頼関係を築く役割があり、編集整理に工夫の余地があると感じました。

今回の研修を通して、「伝える」から「伝わる」へを基本に、議会活動が住民の方に「良くわかり」「良く伝わる」編集整理に心がけ、読みたくなる「議会だより」の発行に今後も努力します。

議会広報の編集を学ぶ

広報広聴委員会研修

各議員が市政を問う

一般質問

平成29年第3回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】

(質問順)

- ① 渡辺 久治 議員
- ② 濱田 洋一 議員
- ③ 牟田 学 議員
- ④ 竹原 信一 議員
- ⑤ 大田 重男 議員
- ⑥ 山田 勝 議員
- ⑦ 白石 純一 議員
- ⑧ 竹原 恵美 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴について

議員写真の右下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承下さい。

渡辺 久治 議員

「寺島」周辺整備 青写真を

早い時期に「具体案」を示す



改修を待つ「宗則ゆかりの旧家」
(脇本橋之浦東区)

渡辺 「寺島宗則」による地方創生、具体的な「青写真」を早急につくるべきと考えるが。

渡辺 来年は旧家に宗則の業績や今後の展望を説明した応急の「案内板」を設置してもらいたい。

商工観光課長 明治維新150年も目前に迫って

商工観光課長 アドバイ



動画視聴

ザー会議で図っていくが案内板の設置やリーフレットの作成は必要であると考えます。

阿久根から国への「提言」について

渡辺 長崎の田上市長は「核兵器禁止条約」の交渉会議にすら参加しない日本の姿勢を被爆地は到底理解できず、国際社会は日本の参加を待っていると述べた。どう思うか。

市長 平和への思いは同様に抱いている。条約の批准については、国政に関する事なので意見は控えたい。

渡辺 日本は「核エネ」からの決別を宣言し、世界平和の実現を運命付けられた国であると思う。稼働中の川内原発に近い阿久根から国への「提言」を検討する考えはないか。

市長 エネルギー政策は国の責任で取り組むべきだ。省エネや再エネに対する気運の高まりが「核エネ」の低減に繋がると考える。

濱田 洋一 議員

果樹苗木購入補助事業 実績は

25農家で1,960本



市の特産物である阿久根文旦



動画視聴



濱田 平成29年度の新規事業である「果樹苗木購入補助事業」の実績は。
市長 「大将^{だいしょう}季^き」が11戸の農家で1265本、「紅甘^{こうかん}夏^か」が11戸の農家で555本、「文^{ぶん}旦^{たん}」が3戸の農家で140本の合計1960本、延べ25戸の申し込みがあった。

空き家等の対策について

濱田 空き家バンクの設置に向けた作業状況は。
市長 情報収集を図り、不動産業者等と連携し、整備を進めたい。

防災対策について

濱田 雨の降り方が局地

連携を図り、どのような取組がなされているか。

市長 農政新時代を迎えますます関係機関との連携は重要であると認識し、現在、多くの協議会や事業によって連携を図っている。

化・集中化・激甚化している現在、「逃げ遅れゼロ」を目標に避難方法など、ソフト面を充実させていくことが大切なことである。地域における「共助」、「支え合い」、「連帯」が重要であると考えているため、市として今後どのように取り組むか。

市長 研修機会の拡充や自主防災組織が抱える問題の把握と支援を通じて実質的な機能を確保していきたい。

その他の質問
・消防団への支援について

牟田 学 議員

竹チップ 補助単価増額を

予算限られ難しい



竹林の整備作業状況



動画視聴



牟田 阿久根市竹材利用組合からの竹チップ材搬出に対する補助単価の増額要望に応えられないか。
市長 限られた状況の中で、予算の増額を見送ってきた。今後は、未整備の竹林の整備に対して何らかの補助ができないか考えている。

牟田 空家の現状と危険家屋解体補助事業の実施件数、今後の見通しは。
都市建設課長 申請の件数によるが、年間8件の補助金交付を考えている。

牟田 危険家屋の解体の補助について市民に周知を図っているか。
都市建設課長 毎年、4月、5月の市報、防災無

線、ホームページ等で周知を図っているがさらに徹底したい。

牟田 簡易水道事業について、現在の実施状況と今後の計画、上水道への編入時期、水道料金の改定はどうなるか。

市長 H26年度に脇本地区簡易水道、H27年度に大川・尻無地区簡易水道、H28年度に黒之瀬戸簡易水道が完了し、H31年度に中部地区簡易水道が完了予定である。上水道との統合時期は、H31年度までにと考えている。料金の改定は上水道料金と同額を考えており、取り組みを進めている。

竹原 信一 議員

公営住宅間引越し なぜ不許可

法に「住宅に困窮」とある



動画視聴



竹原 市民をぼろぼろの市営に住ませ、程度のよい所を解体している。私は「悲惨なところから引越すればいいのに」と考えたが、職員が

「公営住宅間の引越しを許さない」というのを勝手にやっていると思った。ただのいじめではないか。これは一体どういうつもりなのか。知らなかった事を市民の皆さんには申し訳ないと思う。市役所組織は情けない。

市長 法には「現に住宅に困窮している事が明らかであること」とあり、公営から公営に入居できないものと理解している。



竹原 全部に対していまだに移転を認めていない。最初からそれを行っている。しかも、そのきまりを文書にせず内輪でそんなことをしている。個別対応は当たり前だ。

市長 個別の案件であり、私自身把握していないので何とも言えない。公営住宅は低所得者向けであることは理解している。個別に対応していくのが大事ではないかと考える。

市長 個別の案件であり、私自身把握していないので何とも言えない。公営住宅は低所得者向けであることは理解している。個別に対応していくのが大事ではないかと考える。

大田 重男 議員

災害時の避難経路整備を

緊急時避難経路の確保を図る



動画視聴



大田 施政方針で原子力発電施設立地地域基盤整備事業交付金を活用した災害時の避難経路の道路整備を行うとあったが、具体的には。

市長 今年度から31年度にかけて市道の改良整備と橋梁の改修工事をするものである。今年度は、市道尾城線・市道愛宕鼻線・市道上原桐野線の改修工事を予定している。

大田 阿久根中央線で、大川の野元から尾崎間が未整備であるが、大川地区は、原発から10・5キロである。災害時の避難道路として整備計画を強く要望する。



2級河川尻無川の現状



大雨時の尻無川の様子

河川の整備について

大田 県の管轄である2級河川の山田川の整備をことしされたそうだが、実施金額は幾らか。

都市建設課長 山田川の寄り洲除去の工事費は1千万ほどと伺っている。

大田 2級河川の寄り洲の除去は、区長会でも強い要望があるがなかなか進まない。大雨の時、危険水域を超えている現状もある。地域の方々がボランティアで整備をしているが限界に近い。除去工事を進めてもらいたい。

番所丘公園の安全性は

大田 広場の木製の遊具施設は設置から何年経過し、点検はしているか。

市長 平成4年に設置し、25年経過しており、年1回専門業者に点検を依頼し適切に管理している。

大田 遊具の標準使用期間は、鋼製の遊具15年、木製の遊具は10年が適切とされている。適切に管理されることを望む。

山田 勝 議員

お年寄りの交通手段 見直しを

グループタクシー 見直し検討



動画視聴



山田 乗合タクシー、グループタクシーの実施で喜んでくれる人もいれば集落にバス停があるだけで利用できない人もいます。どう見てもみんなが公正に利用できている制度とは思えない。市内の交通の不便を感じているお年寄りが便利に使える制度に見直せないか。

市長 乗合タクシーについては成果を挙げていては。グループタクシーについては、支援が必要が高齢者等への対応に課題があり、見直す必要がある。現在、区長へのアンケート調査を実施しており、その後見直しの検討を始める。

山田 「道の駅阿久根」はオープン以来20年を経過し、設備や運営の仕方を見直す時期だが。

市長 既存の施設で改修・改善を図りたい。

山田 「道の駅阿久根」はオープン以来阿久根市に利益を還元しておらず、出ずばかり。今までの阿久根市からの支出額は。

市長 オープンの年々から4年間で運営委託料が55万4千円、平成24年から備品購入費、施設修繕費など123万6千7百円を支出している。

山田 人を集め、売り上げを上げるだけでなく、大川、牛之浜、西目地区などの野菜、果物、タケノコ、阿久根の海産物・特産物をいっぱい陳列しないと阿久根の創生につながらない。その事によって新しい産地をつくり、その地区に住んでいる人たちのやる気を起こさせることこそが阿久根市の活性化につながる。



バス停がある区は
乗合タクシーの運行がない

白石 純一 議員

旧国民宿舎 公募は

9月開始 地元雇用・産品を



動画視聴



白石 旧国民宿舎跡地の公募開始時期、条件は。

市長 9月に募集開始。事業の30年間継続、地元雇用優先、地元産品の最大限活用等を条件とする。

白石 選定委員・選定時の公開プレゼンは。

市長 選定委員は市の関係課長に、宿泊・観光の有識者を加える。

財政課長 公開プレゼンは考えていない。

白石 市の土地に優遇措置を受け開発される施設は、既存の民間施設と競合、経営を圧迫すべきでないと考えが。

市長 民間ノウハウを十分発揮できる提案を頂く。

白石 国体受入れ施設として、阿久根高校跡地は。

市長 国民宿舎跡地の事業内容により、互いを補完する施設を検討する。

白石 市道の駅ができるが。

市長 新施設は西回り道の利用者の休憩施設とし、既存道の駅と2カ所ですべて転者休憩機能を確保する。

白石 自然環境・地形への影響、市民や近隣住民への説明会の予定は。

市長 土砂流出防止や自然環境に配慮し工事を進める。基本計画策定段階において、随時住民説明会を開き、意見の集約に努める。

白石 大川インター近くの新・道の駅構想で、既存「道の駅あくね」との関係は。1km圏内に2か

その他の質問

- ・Jアラートに課題は
- ・公示文書閲覧へ配慮を
- ・市事業・市内県事業の労働災害について



旧国民宿舎の露天風呂
眺望・温泉・食の魅力を

竹原 恵美 議員

空き家管理 意識醸成を

所有者適切管理へ広報続ける



動画視聴

市長 所有者が適切に財産を管理していくよう広報を引き続き行いたい。

安定ヨウ素剤 事前配布を

竹原 空き家管理等の意識の醸成が必要ではないか。説明会・相続登記の促進や特定空き家放置による賠償責任など情報発信をしようか。

竹原 有事の際、安定ヨウ素剤配布は消防職員・団員・職員にはどのように配布する予定か。福島では混乱の中、ほとんどの自治体が配布していなかった。被ばくの24時間前の服用が効果があり、

事前配布が有効ではないか。
市長 職員等へ優先配布にはなっており、県からの指示を受けた場所での配布になっている。現在保管しているものは県の所有物であり57万円に相当する。鹿児島県の事前配布の動きを見守り対応を考えたい。

市営住宅の健全運営

竹原 国交省から単身入居者死亡後の残置物への対応方針策定について文書が出されたが、阿久根市として条例を制定してどうか。民生委員の活動は区の名簿をもとに行っている、入居者へ自治会加入の促進を行っているかどうか。

市長 国交省からの文書を確認していない。必要な対応は入居者や連帯責任者へ対応を求めている。入居者には文書で自治会加入を求めている。



安定ヨウ素剤（医薬会社HPより）

乳児用内服ゼリー

丸薬

12月定例会のお知らせ

- 1日 本会議（提案説明・質疑）
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 8日 委員会（12日まで）
- 19日 本会議（委員長報告・表決）

※日程については、変更になる場合があります。



あなたの写真で、市議会だより表紙を

次号 2月15日発行の表紙用写真を募集します。冬の風景、催事等を題材に、阿久根らしい写真で動きや季節感のあるものをお寄せください。

簡単な写真の説明、氏名、連絡先を記入の上、お一人様3点まで左記の住所へ郵送、またはメールで広報広聴委員会宛てご応募ください。

採用の可否は委員会で判断させていただきます。応募作品の返却希望の場合はお申し出ください。

なお、不明な点はお連絡ください。
締 切：平成30年1月12日(金)



編集後記

今からの阿久根市を考え、人にやさしく、動物にもやさしく、思いやりのある街づくり。高齢者や障がい者の方に手を伸ばしてみれば人はやさしくなれます。動物にやさしく接してあげれば動物も人間もやさしくなれます。また、動物を捨ててはいけません。人は生きていく限り動物と共存して生きていかなければならないから。弱者に対しても子供たちにも思いやり、支援が必要です。人間の欲を捨て、ねたみを捨てて人や動物にやさしくなれる人間づくり、街づくりを目指せば、阿久根市はきっと変わると思います。

(委員 西田 数市)

発行責任者		議長	木下 孝行
広報広聴委員会		委員長	白石 純一
副委員長		渡辺 久治	
委員		西田 数市	
〃		竹原 信一	
〃		飯屋 園一徳	
〃		濱崎 國治	